

国保 年金



高額療養費や出産育児一時金

支給されるまで資金を 無利息で融資します

国民健康保険の加入者が、高額医療費や出産費の支払いに困ったとき、資金を貸し出す制度があります。

高額医療費貸付制度

対象＝高額療養費の支給を受ける見込みがある世帯主で、国民健康保険税を完納している人

貸付金額と利息＝高額療養費支給見込額の80%まで・無利息

貸付期間＝高額療養費が支給される日まで

申請の流れ＝医療機関などが発行した療養に要する費用の内訳が記載された請求書または領収書を持って、保険年金課または下総・大栄支所市民福祉課で手続きを。市は貸付金を申請者の委任に基づき医療機関などへ直接支払います(医療費を医療機関などへ全額支払い済みの場合は申請者へ)。貸付金は高額療養費支給額からの充当によって清算

出産費貸付制度

対象＝次のいずれかに当てはまる人の属する世帯の世帯主で、国民健康保険税を完納している人

- ①出産予定日まで1カ月以内の人
- ②妊娠4カ月以上の人で、出産に要する費用について医療



機関などに一時的な支払いが必要となった人

貸付金額と利息＝出産育児一時金(42万円)の90%まで・無利息

貸付期間＝出産育児一時金が支給される日まで

申請の流れ＝母子健康手帳・保険証・印鑑・出産に要する費用の請求書(妊娠4カ月以上の人)を持って、保険年金課または下総・大栄支所市民福祉課で手続きを。市は貸付金を申請者へ支払います。貸付金は出産育児一時金からの充当によって清算

ただし、全国健康保険協会、健康保険組合、共済組合などに被保険者本人として1年以上加入していた人が、その保険をやめてから6カ月以内に出産する場合は、加入していた保険から支給されますので、注意してください。

国民年金のサポート

老後だけではありません

老後だけでなく、障がいを負ったときや一家の支え手が亡くなったときも、年金を受給できる場合があります。今回は障害基礎年金についてお届けします。

障害基礎年金は、国民年金加入中(加入していた人は60歳以上65歳未満の期間も含む)に初診日がある病气やけがで一定の障がいを負った人に支給されます。請求は初診日から原則1年6カ月以降(1年6カ月後が20歳未満のときは20歳以降)にできます。

障害基礎年金を受給するためには、①障がいの重さが基準以上②一定の保険料を納付済み(初診日が20歳前のときは除く)という条件を満たす必要があります。

保険料納付条件

次のいずれかを満たす必要があります。

- ①初診日の前々月までの被保険者期間のうち納付期間や免除・猶予期間などが3分の2以上あること
- ②初診日が平成28年3月末までのときは、初診日の前々月までの直近1年間に未納がないこと

初診日が厚生年金加入中であるときは障害厚生年金、共済組合加入中の場合は障害共済年金の対象になりますので、それぞれ年金ダイヤル、各共済組合にお問い合わせください。

問い合わせ先

国民年金加入中の初診日	第1号	市保険年金課 ☎ 20-1547
	第3号	年金ダイヤル(全国共通) ☎ 0570-05-1165
厚生年金加入中の初診日		年金ダイヤル(全国共通) ☎ 0570-05-1165
共済年金加入中の初診日		各共済組合

※くわしくは保険年金課(国保☎20-1526・年金☎20-1547)へ。